

信州型コミュニティスクール

概要版

信州型コミュニティスクールとは

信州型CSとは、学校と地域が「こんな子どもを育てたい」という願いを共有しながら、一体となって子どもを育てる仕組みを持った地域と共にある学校です。

協働

代表

協議

学校支援ボランティア

- ★組織化による持続的な学校支援
- <子どもたちへ>
- 多様な人との関わり
- 豊かな体験学習
- 学習支援 等

(ボランティアの経験を生かして)



運営委員会

- ★意見交換(熟議など)
- ①めざす子ども像
- ②学校の重点目標や課題への取組
- ③支援で気づいたこと
- ★学校支援の方向性や調整
- ★学校関係者評価

- ◇願いや課題の共有
- ◇支援の方向・調整

参加

願いや課題の共有

代表

地域・家庭

願いや課題を共有して学校と地域が一体となって子どもを育てる

PTA

公民館

自治会

運営委員会って何？

信州型CSの核となる会議です。

運営委員になる方

- ★ボランティア組織の代表またはコーディネーター
- ★学校代表 ○PTA ○公民館 ○育成会
- 民生児童委員 ○自治会 等 (★必須 ○任意)

役割

- ①学校運営についての意見交換
 - ②学校支援の方向性決定・調整
 - ③学校関係者評価
- について一体的に行う

ねがい

- ◆ボランティアや地域で子どもの育成に関わっている経験をもとに、子どもや学校運営についての意見をいただき、学校運営に生かします。(アドバイスとして)
- ◆子どもや学校運営について話し合っただくことで、子どもへの願いや課題を共有し、共に何ができるか考えていただきます。
- ◆共有した願いや課題を地域全体へ発信していただきます。

既存会議の活用

これまで行われてきた会議を活用することも可能

例) 学校支援地域本部、放課後子ども教室運営委員会、学校運営協議会、学校評議員の会等

